

皆さんからの声はどうやって大阪市に届くの？

「議員は何をしているのかよく分からない」「議会はどんな役割をしているか分からない」という声をよく聞きます。議員は、見えてきた改善点や修正点を議会を通じて大阪市に提案し、また現状の施策で対応できない場合は、新たな取り組みを大阪市に提案します。

議会で質疑・提案するためには、それぞれの案件について十分な理解が必要になります。皆さんからのご相談から現在の施策の現状分析と課題の整理を行います。そして、今できること、できないことは何か？を明らかにしていきます。そのために、ヒアリング勉強会、実地の調査・視察などを行っているのです。

皆さんからのご相談が、今ある施策の不備や課題の改善につながるのです。ぜひお声を届けてください。



① 皆さんからの声をお聞きします

② 協議 議員団でどのように課題に取り組んでいくか協議します。

③ ヒアリング 議員や議員団として施策の現状を各局からヒアリングしていきます。



議員団会議(毎週火曜日)



大東市長からヒアリング



理事者・外部有識者からヒアリング

④ 実地調査・視察 現場に行かないと分からないことばかりです。

詳細は中面へ⇨



共生支援拠点はばたき



広島市「大州雨水貯留地」



うめきた2期開発と大阪イノベーションの取り組みの視察でグランフロントへ

⑤ 議会で質疑・提案

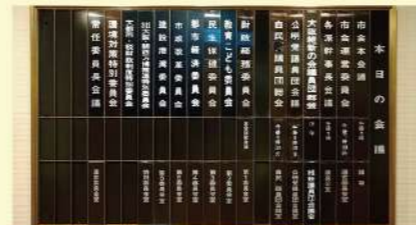
議会の本会議での一般質問、代表質問、委員会質疑で議会に声を届けていきます。9月～12月は、昨年度の決算を審査する議会で事業の評価を行い予算審査につなぎます。12月には次年度の予算要望。2月・3月は次年度の予算を審査する議会を行います。大阪市の常任委員会と決算を審査する特別委員会、特定の問題に関する審査や調査研究などを行うための特別委員会があります。81人の議員は、いずれかの専門部会(委員会)に所属します。



武議員



本会議



市議会の会議



ありったけのチカラで生野のために！

顔が見えるまちづくりですべてのひとに出番と居場所を!!

武なおきHPはこちら



2024年 vol.64 ケアマネジャー・社会福祉士 武なおき 大阪市議員 市政報告

武なおきプロフィール 1972年(昭和47年)12月26日生。同志社大学大学院社会福祉学専攻博士課程(前期)修了。生野区社会福祉協議会でソーシャルワーカーとして7年間、多くの課題と向き合う。29歳で2児のシングルファザーに。36歳で再婚。3人目の子育てと義母の介護真っ最中。当事者だからこそ気付くことがあります。「声にならない声」を届けたいと挑戦した選挙は2度落選。落選の度に応援してくださる人が増え心が震えました。現在4期目。一期一会をつなぎます。

武直樹市民協働事務所
mail: take@take-naoki.com
〒544-0015 大阪市生野区巽南1-2-3
☎06-6753-6714

5月議会報告

会派メンバーの役職が決定しました!



本会議

5/16
-5/30

5月30日の本会議で会派メンバーの主要役職が決定しました。議長は竹下隆議員(維新)、副議長は西徳人議員(公明)。議会で話し合う内容は非常に幅広く複雑なため、全ての案件を81人全員が集まる本会議で十分に審査するには時間がかかります。そのため議会では専門分野ごとに分かれて案件を審査していきます。

【代表】 田中 ひろき 都市経済委員会/2025大阪・関西万博推進特別委員会
【政調会長】 武 直樹 教育子ども委員会/大都市・税財政制度特別委員会

今年度は、会派を代表して大阪広域環境施設組合協議会議員にもなりました。ごみ焼却場の管理・運営について議論します。

太田 勝己 民生保健委員会/環境対策特別委員会
松崎 孔 市政改革委員会/決算特別委員会

詳しい役員委員表はこちら



議会質疑はライブ視聴、録画視聴ができます

大阪市会 中継 検索



会派メンバー

5/21 民生保健委員会

大阪市の介護保険料は、9,249円。全国一高い! (全国平均6,225円)

大阪市民生保健委員会において、日本一高い介護保険料について質疑しました。

Q 大阪市の保険料が、全国一高いのは何故なのか?

- A 要因① ひとり暮らし高齢者が非常に多い。
→ 家族による介護・支援が望めないため、要介護認定を受ける割合が高く、介護サービスを受ける人も量も多い。介護保険料の負担が少ない低所得者が多い。
- 要因② → 制度運営に必要な保険料額の確保のために、一人ひとりの介護保険料が高くなる。



5/21委員会

Q 大阪市の保険料を1,000円だけでも引き下げるのに必要な財源は? 市民の負担軽減のために、一般財源を投入すればいいのではないか。

A 1,000円引き下げるには、年80億円が必要。介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支える社会保険制度であり、50%公費負担・50%保険料負担となるように制度設計されている。介護保険料を下げるために一般財源を投入するのは、適当ではないと国から見解が示されている。

- 現状のままでは、介護保険料はどんどん上がっていく。一般財源を繰り入れることは「適当ではない」との国の見解だが、「やっちはいけぬ」ではないはずだ。(法令上の根拠はない)
- 自治体の状況(大阪市のよう単身高齢者世帯が多い等)に応じて、国の負担割合を変えられるようにする。
 - 自治体の一般財源を繰り入れられるようにする。政治的判断も必要。
 - 行政からだけでなく、各党派・党を通じて、国へ要望していく。

保険料基準額の高額保険者

保険者名	第9期基準額(月額)
大阪府 大阪市	9,249
大阪府 守口市	8,970
大阪府 門真市	8,749
岩手県 西和賀町	8,100
青森県 七戸町	7,900
東京都 檜原村	
大阪府 松原市	7,880
青森県 東北町	
青森県 東通村	7,800
秋田県 藤里町	
千葉県 鋸南町	
東京都 青ヶ島村	7,700
奈良県 天川村	
和歌山県 御坊市	7,633
高知県 芸西村	
青森県 六ヶ所村	7,600
福島県 三島町	
福島県 双葉町	7,600
群馬県 川場村	
三重県 大台町	

武から提案

「移住連全国ワークショップin大阪 管理・排除なんかさせへんで！」 ～地域から創る多民族・多文化共生社会～

生野区にもつながるテーマです。入管法改定案が国会で審議され、6月21日に衆議院で可決されたところです。課題となっている論点を知ることができました。



全体会

チームでまちをデザインする ～包括的な支援体制・重層的支援体制整備事業セミナー～

藤井博志教授と井岡仁志氏が講師を務められたセミナーに参加しました。地域福祉の推進には、①行政・専門職間のネットワーク ②住民と行政・専門職間のネットワーク ③住民間のネットワーク、の重層的なネットワークづくりが重要です。武直樹は生野区でのこの取り組みに、今後時間も力も割いていきたいと考えています。



セミナーテキスト

6/4-5 岡山県総社市・広島市視察

総社市障がい者千人雇用とは▶



● 岡山県総社市「障がい者千人雇用推進条例」「障がい者千五百人雇用事業」

人口7万人の総社市。H23年「180人だった障がい者雇用を1,000人にしよう」「生きがいを感じて働いてもらおう」と「1,000人雇用事業」がスタート。ハローワークとの協定締結や企業等とのマッチングを行う千人雇用センターを設置し、H29年には、目標の1,000人雇用を達成。現在1,500人雇用を目指して、1,500人雇用センターを社会福祉協議会に委託しています。企業回り・就労先の開拓・障がい者雇用へのマッチング・生活の相談・寄り添い支援をチームで実現されており、障がい者支援の輪が市内の経済活動を牽引し、まちを元気に、人口増加にも寄与しています。どんな事業にもコーディネート力が大事だと改めて実感しました。



ヒアリング



総社市役所前

● 広島市「大州雨水貯留地」

広島東洋カープ本拠地MAZDAスタジアム広島のグラウンド下に「大州雨水貯留地」を設置。既設下水道管の能力を超えた雨水を貯めることができるため、10年に一度レベルの1時間に53ミリの大雨にも対応可能になっています。貯留量15,000㎡のうち1,000㎡は、ろ過後、散水やトイレ用水等に再利用されています。大阪市でも、1時間に60ミリの雨に対応するべく下水道整備を進めています。



カープマンホール

大州雨水貯留地

社会福祉法人佛子園「三草二木西園寺」「B's行善寺」視察 石川県

地域住民誰でも利用できる温泉と食堂とフィットネスがあり、デイサービス、生活介護、就労継続A、就労継続B、児童発達支援、放課後児童デイサービス、学童保育、保育園などがありごちゃまぜで実施されています。食堂が障がい者の働く場になり、温泉に地域住民がはいりくる、食堂に食べにくる、お酒飲みに来る、デイの利用者も一緒にお風呂入る。誰が利用者か地域住民かわからないほどごちゃまぜです。

「ごちゃまぜで挑む地方創生！」ということで、タテ割りの福祉をヨコにつなぎまくってました。職員同士の連携や人材確保、行政との連携、地域住民との連携、町でくらししていれば、問題が毎日起こるのは当たり前。起こらないように、禁止することを増やすのではなく、お互い対話してどう乗り越えていくか、考えていくプロセスを大事にしています。地域とも最初からうまくいったわけではなく、プロセスを積み上げてきています。まちづくりはやはり対話とプロセスです。武直樹も引き続き、地域住民の皆さんと一緒に悩み、一緒に何できるか考え、一緒にそのプロセスを歩むことにずっとこだわっています。こんなことしたい、と思う視察でした。



▲佛子園



お寺のおででデイサービスなどごちゃまぜ



足湯もあります

「教育支援センター桃谷」「共生支援拠点はばたき」視察



教育支援センター桃谷 (元鶴橋中学校)

● 教育支援センター桃谷

不登校となっている児童生徒が学校に籍をおいたまま通うことのできる施設で、月曜～金曜、それぞれの生徒の状況に応じた学習支援・教育相談を行っています。ゆっくりできる部屋や個別に相談できる空間、自分のペースで学習できるスペースがあり、学校生活への復帰や社会的自立を目指した支援を行います。大阪市には他2ヶ所。一方、2024年4月に開校した市立心和中学校(浪速区)は、転籍して通うことのできる不登校特例校で、実態に配慮して特別に編成された教育課程に基づく教育を行っています。

● 共生支援拠点はばたき

日本語指導が必要な生徒数は令和5年度1326人。年々増加しており、現場の対応が追いついていない現状です。大阪市では、外国から編入する子どもへの支援や共生のため、共生支援拠点を4カ所設置しています。施策が現実に追いついておらず、今度どう取り組んでいくのか、大きな課題です。こうしたことも背景に、生野区では、政策提言も含めた外国人住民との共生社会実現に向けた調査・施策検討業務を今年度実施します。プロセスを大事にしながら応援していきます。



▲共生社会実現に向けた調査・施策検討業務



ゆっくりできる部屋

地域福祉学会 文京学院大学：東京都

久しぶりに地域福祉学会に参加しました。地域福祉学会のテーマの一つは、「実践と研究をどうつなぐか」です。武は、ソーシャルワーカーとして、市議員として地域住民と一緒に悩み、一緒に何できるか考え、一緒にそのプロセスを歩むことにずっとこだわっています。日々、地域の課題解決に向けて、住民の皆さんがどのように主体的に参加参画し、そのプロセスを通じてつながりを再構築していくか、模索しています。

最近はこの実践・研究・政策・地方自治、をどうつなげるか、実践研究としてまとめたいとも考えているので、参加できてよかったです。刺激とたくさんのヒントを頂きました。



久しぶりの学会

「日本一高い介護保険料をどうするか？」勉強会 講師：逢坂伸子大東市長

公明党・自民党主催の勉強会に参加させて頂きました。

住民主体の総合事業の実施をプロデュースされている逢坂伸子大東市長からは、住民主体の通いの場や住民参加の生活サポート事業など、先進的な取り組みを学びました。厚生労働省老健局課長補佐からは、介護保険料の現状と課題を報告いただきました。制度を長期的に安定して運営するために必要な財政措置の考え方や一般会計から法定分以外の繰り入れの可否など、各議員から質問するとともに、要望等たくさんの声を届け、共有しました。今後引き続きプロジェクトチームを立ち上げ、取り組みすすめていくことになっています。



活発に意見交換しました